

ふるさとの杜再生プロジェクト

百年の杜づくり 仙台市

プロジェクトの目的… 東部地域のみどりの再生・創出

プロジェクトの目標… 東日本大震災で失われたみどりの再生に加え、復興の過程で生まれる新しいみどり(=ふるさとの杜)を市民協働で植えて育てることで、やがて防災や環境保全の機能を持つ東部地域固有の風景を再生し、市民の暮らしに根ざしたみどりを創造します。

また再生した「ふるさとの杜」を活用し、レクリエーションや文化活動を行うことで市民の心のふるさととなることを目指します。

海岸線の成長イメージ

10年後: 海岸のクマツクサが先に成長し、陸側の広葉樹などを海風から守る役割を果たす。鳥が種を運ぶなどして、実生がはじまる。クマツクサと広葉樹が少しずつ混じり合い、地域固有の草本類なども徐々に再生していく。

20年後: それぞれ当初の樹種を基調としながらも、混じり合った形の海岸線が形成される。草本類も根よく成長し、生態系を形成する。広葉樹が葉を落とす時期でも、海岸のクマツクサと、陸側の広葉樹(シラカン等)が防風の役割を果たす。

30年後: 広葉樹がクマツクサの樹冠に並ぶようになり、海岸線として、安定する。

「ふるさとの杜再生プロジェクト」Facebookページをご覧ください!

平成29年3月より、仙台市東部地域における植樹・育樹イベントや地元町内会、NPO、企業で組織する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」会員の活動紹介など、みどりの復興活動を発信しております。震災から7年を迎えた今、皆さまに仙台市のみどりの復興の様子を知っていただき、復興の輪を広げてまいりたいと思っております。

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8389まで

あしたのみどり キャンペーン

キックオフ特集

みどりを通して、地域の絆と子どもたちの未来を育む

約400人が集まった 海岸防災林での植樹会

3月24日(土)、若林区の荒浜宇南官林地区の海岸防災林を会場に、植樹会が行われました。これは仙台市が、東日本大震災により大きな被害を受けた東部地域のみどりの再生を進める「ふるさとの杜再生プロジェクト」の一環で、当日は七郷地区の町内会や七郷小学校の児童とその家族など、地域住民の皆さん、さらには仙台市認定緑の活動団体、支援団体企業、公営の市民など約400名が参加しました。

開会式では都市長から「ふるさとの杜の再生は短期間には実現できず、育てるためには多くの力と時間が必要になります。継続的に一緒に育てていきたいと思います」とあいさつがありました。植えられた苗木は、クマツクサやシラカン、ヤマザクラ、ユナナブなど約3650本、向山小学校では、ドラングリの実から苗木を育てて植えていますが、八乙女中学校でも、真美沢公園でドラングリを拾い、それを育てて来年植樹しようと準備しています。

参加者全員による植樹の前に、記念植樹を実施。郡和子仙台市長も七郷小学校の児童と一緒に記念の苗木を植樹しました。

「ふるさとの杜再生寄付」を募集しています

寄付金は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」事業で使用する苗木や資材の購入費用などに充てさせていただきます。寄付金につきましては、税制面で優遇されます。ふるさとの杜の再生に向けて皆さまの支援をお待ちしております。

海岸公園(井土地区) 7月8日(日) 冒険広場・馬術場 13:00開園

東日本大震災の津波により大きな被害を受けた海岸公園は、復旧工事を行ってきており、完成した地区から順次開放してまいりました。この度、井土地区の復旧が完了し、7年4か月ぶりに全てご利用いただけるようになります。平成30年7月8日(日)13時より利用を再開いたします。

花壇ができたこと、園児たちに好影響

「子どもたちに花を見せてやりたい」との高橋由美園長の思いから、キャンペーンに応募した、泉区南中山にあ、ふたばにゼンル幼稚園。昨年11月に園庭の一角に、土づくりから始めて花壇を設け、そこにヒヨドリバナやパンジーの花を植えました。さらにチューリップの球根を植えてきました。また傾斜地の一部には、ユズ、ビワ、オリーブなど、果樹木の苗木を植えることで、小さな果樹園のような空間をくりやりました。

花壇や果樹園づくりの志を担ったのは、今年の3月に卒園した園児のお母さん方。園長先生によれば、南中山小学校の入学式当日、「お子さんと一緒に園庭の脇を通ったお母さん方は、キレイに咲きましたね」と皆さん喜んでくれたとのこと、中には、園庭まで入って花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

地域住民の癒やしとなり「コミュニティ」の維持にも

仙台市では、津波で大きな被害を受けた仙台市東部地域に、13カ所の津波避難施設を整備しました。1、2階が消防団施設、3階が避難スペースになっている若林区三本塚の三本塚津波避難ビルもそのひとつです。ビルはできたものの、あまりにも殺風景だと感じた町内会長の小野吉信さん。「町

花壇があることは体験学習にも役立つと、きれいな花を観察するのはもちろん、これからの昆虫など生きていくことができます。植物と一緒に育つ昆虫などの生き物についても学びます」と園長先生はその効果に期待しています。

チューリップが咲き終わったら球根を取るための作業を行い、さらにはパンジーやオリーブが咲き終わる後に、どんな花を植えられるのかを年長の園児や職員と相談しながら決めていくとのこと。花壇ができたことで、園児たちの活動の幅が広がって、感性も高めてくれそうです。

花壇があることは体験学習にも役立つと、きれいな花を観察するのはもちろん、これからの昆虫など生きていくことができます。植物と一緒に育つ昆虫などの生き物についても学びます」と園長先生はその効果に期待しています。

チューリップが咲き終わったら球根を取るための作業を行い、さらにはパンジーやオリーブが咲き終わる後に、どんな花を植えられるのかを年長の園児や職員と相談しながら決めていくとのこと。花壇ができたことで、園児たちの活動の幅が広がって、感性も高めてくれそうです。

子どもたちが花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

みやぎは なんです。

食材王国のほこり。みやぎ米

ひとめぼれ ササニシキ つや姫 だて正夢
宮城を代表する主力銘柄 和食との相性抜群 艶があって粒ぞろい もちもち食感の新銘柄
「みやぎ米」メッセージボード 開発プロジェクト

宮城米について詳しくは <http://m-hozen.mai.jp/> あしたの元氣! 宮城米! 後案
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号 TEL. 022-264-8381

JA全農みやぎ

花壇ができたこと、園児たちに好影響

「子どもたちに花を見せてやりたい」との高橋由美園長の思いから、キャンペーンに応募した、泉区南中山にあ、ふたばにゼンル幼稚園。昨年11月に園庭の一角に、土づくりから始めて花壇を設け、そこにヒヨドリバナやパンジーの花を植えました。さらにチューリップの球根を植えてきました。また傾斜地の一部には、ユズ、ビワ、オリーブなど、果樹木の苗木を植えることで、小さな果樹園のような空間をくりやりました。

花壇や果樹園づくりの志を担ったのは、今年の3月に卒園した園児のお母さん方。園長先生によれば、南中山小学校の入学式当日、「お子さんと一緒に園庭の脇を通ったお母さん方は、キレイに咲きましたね」と皆さん喜んでくれたとのこと、中には、園庭まで入って花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

花壇ができたこと、園児たちに好影響

「子どもたちに花を見せてやりたい」との高橋由美園長の思いから、キャンペーンに応募した、泉区南中山にあ、ふたばにゼンル幼稚園。昨年11月に園庭の一角に、土づくりから始めて花壇を設け、そこにヒヨドリバナやパンジーの花を植えました。さらにチューリップの球根を植えてきました。また傾斜地の一部には、ユズ、ビワ、オリーブなど、果樹木の苗木を植えることで、小さな果樹園のような空間をくりやりました。

花壇や果樹園づくりの志を担ったのは、今年の3月に卒園した園児のお母さん方。園長先生によれば、南中山小学校の入学式当日、「お子さんと一緒に園庭の脇を通ったお母さん方は、キレイに咲きましたね」と皆さん喜んでくれたとのこと、中には、園庭まで入って花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

花壇ができたこと、園児たちに好影響

「子どもたちに花を見せてやりたい」との高橋由美園長の思いから、キャンペーンに応募した、泉区南中山にあ、ふたばにゼンル幼稚園。昨年11月に園庭の一角に、土づくりから始めて花壇を設け、そこにヒヨドリバナやパンジーの花を植えました。さらにチューリップの球根を植えてきました。また傾斜地の一部には、ユズ、ビワ、オリーブなど、果樹木の苗木を植えることで、小さな果樹園のような空間をくりやりました。

花壇や果樹園づくりの志を担ったのは、今年の3月に卒園した園児のお母さん方。園長先生によれば、南中山小学校の入学式当日、「お子さんと一緒に園庭の脇を通ったお母さん方は、キレイに咲きましたね」と皆さん喜んでくれたとのこと、中には、園庭まで入って花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

花壇ができたこと、園児たちに好影響

「子どもたちに花を見せてやりたい」との高橋由美園長の思いから、キャンペーンに応募した、泉区南中山にあ、ふたばにゼンル幼稚園。昨年11月に園庭の一角に、土づくりから始めて花壇を設け、そこにヒヨドリバナやパンジーの花を植えました。さらにチューリップの球根を植えてきました。また傾斜地の一部には、ユズ、ビワ、オリーブなど、果樹木の苗木を植えることで、小さな果樹園のような空間をくりやりました。

花壇や果樹園づくりの志を担ったのは、今年の3月に卒園した園児のお母さん方。園長先生によれば、南中山小学校の入学式当日、「お子さんと一緒に園庭の脇を通ったお母さん方は、キレイに咲きましたね」と皆さん喜んでくれたとのこと、中には、園庭まで入って花壇を眺めていた親子もいました。

小学生から大人まで、合わせて約30人が集まって花壇づくりを行ったのは、昨秋のこと。レガで花壇のフチを取り、そこに良質な土を入れ、ヒヨドリバナやオリーブといった花々を植えていき、また、小野さんによれば、後日町内会でも、チューリップの球根も植えたとのこと。「雨が少ないので、何度か水やりをした。殺風景なものが、花壇ができてだいぶ変わりました。子ども会の行事をやるときも、みんなが見ていきませうし、癒やされます。三本塚地区は集会所が再建されておらず、津波避難難民が集会所がわりに利用されています。月に1、2回は町内会に開かれる会合などがあるそうです。

震災の影響で戸数が約3割減少した三本塚地区。震災後は隣りが誰か分からず、道路も歩いても誰にも会えないけれど、ここに来れば会える」と語っていたのは、園庭取りをしていた高橋の女性。花壇をつくることで、地域の「コミュニティ」の維持にもなっています。

今年10年目を迎えるあしたのみどりキャンペーンは、杜の仙台の豊かなみどりを未来にないていくため、みどりの育む活動を広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくことで、みんなでもみどりに親しみ、今できることからみどりを育てていきたいと思います。

みどりを楽しみ育む

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

2018 あしたのみどり キャンペーン

本日スタート! 12.31 (Mon) まで

みどりを楽しみ育む! わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法
あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像データを添付の上、投稿してください。

応募期間: 11月30日(金)まで
公開期間: 6月26日(火)~12月31日(月)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも! 詳しくは、WEBサイトをご覧ください

抽選でプレゼント!

みどりを育てよう! 「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集

宮城県内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育むために活動する、皆さまからのご応募をお待ちしています。

あしたのみどりキャンペーンのWEBサイトの応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募方法
あしたのみどりキャンペーンのWEBサイトの応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間: 7月31日(火)まで
植樹・花壇づくり支援実施時期: 9~10月
実施数: 2~3カ所を予定
(応募には条件があります。詳しくはWEBサイトで確認ください)

<http://www.a-midori.jp>

あしたのみどり 検索

みどりを楽しみ育む! わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法
あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像データを添付の上、投稿してください。

応募期間: 11月30日(金)まで
公開期間: 6月26日(火)~12月31日(月)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも! 詳しくは、WEBサイトをご覧ください

抽選でプレゼント!

企画・制作 / 河北新報社営業局